

二年前私は留学生として日本に行きました。早稲田大学に留学して、そこで「流行語」という科目を取りました。流行語というと今流行っている言葉と意味します。

そこで私はいろいろな面白い流行語を学べるようになったが、一番気になったのはヘイトスピーチという言葉です。皆さんはヘイトスピーチという流行語をご存知でしょうか。

英語のHate speechと大体同じ意味です。人種、国籍、社会的な立場、宗教、性的指向、障害などの人の得点を強い表現で攻撃して、相手に罪悪感や劣等感を持たせるための表現ですね。

たとえば

「〇〇人は皆悪い人だから、内の国から出てください」

あるいは

「〇〇はよくないから、それをする人たちを皆〇〇するべき」

それはヘイトスピーチの例です。

私はロシア人で、ロシアでヘイトスピーチにあったことはあり、今住んでいるノルウェーにもヘイトスピーチにあったことはあり、早稲田大学でその流行語をならったら、「そうですか。日本にでもヘイトスピーチは問題になっていますね。」と私は思いました。私たちが住んでいるグローバル化の時代はヘイトスピーチはグローバルな問題になっているそうです。

それは大変残念だと思っています。

私たちはみんな違うけど、人間が一番強くなっているときは、他の人と一緒になっている時です。みんな違うからこそ、一緒には強くなれます。

しかし、ヘイトスピーチなんかしたら、一緒にはなれないでしょう。

だから皆さん、ヘイトスピーチをやめましょう。もし、どこかでヘイトスピーチを見かけたら、それを批判しましょう。

ヘイトスピーチは流行っているかどうかは私たちしだいです。

以上。